



平成27年2月6日

各 位

会社名 株式会社 MARUWA
代表者 代表取締役社長 神戸 誠
(コード番号 5344 東証・名証第1部)
問合せ先 取締役管理本部長 永光 哲也
(TEL 0561-51-0839)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月30日に公表しました平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の通期連結業績予想値を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益(円)
前回発表予想(A)	36,500	4,300	4,400	2,700	218.62
今回修正予想(B)	32,000	2,400	3,100	1,800	145.75
増減額(B-A)	△ 4,500	△ 1,900	△ 1,300	△ 900	-
増減率(%)	-12.3%	-44.2%	-29.5%	-33.3%	-
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	33,475	3,350	3,645	2,586	209.60

2. 修正理由

照明機器事業については、2014年4月の消費増税の影響などにより売上が伸びず、上期は赤字となりました。下期には回復するものと予想しておりましたが、依然工期の遅れなど解消は見込まれず期初の計画の達成は難しく、売上高は期初予想しておりました13,300百万円から24%減の10,100百万円に着地する見込となりました。また、営業利益に関しましても、900百万円の黒字から0百万円に着地する見込となりました。

スマートフォン向けフェライトシート事業は、既存顧客のハイエンドスマートフォンが低価格な中国製台頭の影響などから、当初の予想に対し売上高が大幅に減少し、これにより赤字に着地する見込となりました。当事業につきましては、今期末までに海外生産拠点などの生産体制見直しならびに生産設備の適正化を図る予定です。

以上のことから、当初予想していた売上高および利益を下回る見込となり、通期連結業績予想数値につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を考慮し修正を行うことといたしました。

※ 上記業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上